

折り紙でトマト・ナス

手しごとカフェ カラフルな作品に夢中



編み物や縫い物など、お互いに教えあう「手しごとカフェ」が8月30日にありました。今回のテーマは「折り紙」。講師の松本和世さんの指導で16人が取り組みました。

今回松本さんが持参した「手本」は、トマトやナスなど、はさみを使わず、組み合わせたりして出来上がるものばかり14種類。42色の大きな折り紙と15色の小さな折り紙から選んで作ります。

みんな、色の組み合わせを考えながら隣の

人と相談したり、松本さんにアドバイスをもらったりしながら折っていきます。無事出来上がると歓声や拍手が上がりました。

山口清子さん(75)は「折っていると楽しい」、工藤英美子(86)は「ボケ防止で折っているけれど、童心に帰ります」。

みなさん和気あいあいと、でもカフェのお茶やケーキに誘われても折り紙に夢中になっていました。

(記事・写真=椎野眞吾さん)